

令和4年度春日井市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農業は、温暖な気候や豊かな水等に恵まれ、水稲のほか、北部の丘陵地において、もも、ぶどう、かき等の果樹やサボテンが生産されている。しかしながら、近年は都市化の進展に伴う農家や農地の減少、農業従事者の高齢化、後継者の不足、主食用米の需要の減少等の課題を抱えている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、圃場整備によってまとまった農地が存在し、水稲の作付に適していることから、引き続き主食用米の生産に取り組むと同時に、直播栽培や多収品種導入による作期分散等の低コスト生産の取組を推進し、加工用米などの転換作物の作付面積の増加を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市の担い手の多くは水稲の作付を主としており、主食用米の生産は過不足なくできていることから、今後も水田としての集積・集約を進め現状を維持しながら効率的な生産及び収益向上を促す。

水田の利用状況については、令和3年度の調査において約59haが耕作されていなかった。引き続き耕作されていない水田の把握を行い、今後も利用される見込みのない水田のうち、集積・集約困難な狭小地、耕作放棄地において、高収益作物等を生産する畑地化を図るべく、農業者の育成・確保を進める。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米については、作付品種が「あいちのかおり」、「あさひの夢」に集約されており、地元作物の地産地消の取り組みとして、農協の営農生活センター及び産直施設での販売促進を図る。

(2) 備蓄米 該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米、イ 米粉用米、ウ 新市場開拓用米、エ WCS用稲 該当なし
オ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、主食用米の作付けから加工用米の作付けへと転換を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物 該当なし

(5) そば、なたね 該当なし

(6) 地力増進作物 該当なし

(7) 高収益作物

産地交付金を活用し、地域振興作物である野菜等の作付けを奨励する。

5 作物ごとの作付予定面積等

別紙のとおり

6 課題解決に向けた取組及び目標

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	212ha	0	207ha	0	206ha	0
備蓄米	-	-	-	-	-	-
飼料用米	-	-	-	-	-	-
米粉用米	-	-	-	-	-	-
新市場開拓用米	-	-	-	-	-	-
WCS用稲	-	-	-	-	-	-
加工用米	0.1ha	0	3ha	0	1ha	0
麦	-	-	-	-	-	-
大豆	-	-	-	-	-	-
飼料作物	-	-	-	-	-	-
・子実用とうもろこし	-	-	-	-	-	-
そば	-	-	-	-	-	-
なたね	-	-	-	-	-	-
地力増進作物						
高収益作物	0.48ha		1.2ha		1.5ha	
・野菜	0.48ha		1.2ha		1.5ha	
・花き・花木	-		-		-	
・果樹	-		-		-	
・その他の高収益作物	-		-		-	
その他	-		-		-	
・〇〇	-		-		-	
畑地化	-		-		-	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	高収益作物 （基幹作）	高収益作物支援	作付面積	（3年度） 0.48ha	（5年度） 1.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 愛知県

協議会名: 春日井市地域農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物支援	1	7,250	高収益作物のうち地域重点品目として別紙に定める野菜等(基幹作物)	出荷・販売をしていること等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。